

# 平成30年度梅花流全国奉詠大会

## 梅花流発祥の地 静岡で盛大に開催



5月23日・24日の両日、静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」を会場に平成30年度梅花流全国奉詠大会が開催されました。25年ぶりとなる梅花流発祥の地での開催ということもあり、定員8000名を大きく上回る約9000名が参加しました。

### 来年度全国奉詠大会、熊本県で開催決定

|     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| 期 日 | 2019年5月22日(水)・23日(木) 参加はいずれかの日となります。 |
| 会 場 | 熊本産業展示場「グランメッセ熊本」 熊本県上益城郡益城町福富1010   |
| 日 程 | 第1日・第2日とも同一日程(10時開会、15時閉会)           |
|     | 第一部 開会式                              |
|     | 第二部 式典                               |
|     | 第三部 登壇奉詠                             |
|     | 第四部 清興(アトラクション)                      |
|     | 第五部 閉会式                              |

※都合により一部変更することがあります。

定 員 9000人(各4500人) ※参加申込は、各梅花講長にご確認ください。



### 「観音さま おかげさま」

伝道部長 渡部卓史

本年度梅花流全国大会は、梅花流発祥の地静岡市を会場に行いましたが、無事に勤めることが出来ました。

これも偏に、梅花観音さまのご加護はもとより、ご尽力頂きました地元静岡県の皆さま、大会を盛り上げてくださった全国の梅花講員の皆さま方のお陰と感謝致し、厚く御礼を申し上げます。

本紙「香里」は今まで年1回正月に発行しておりましたが、「全国大会の様子を早く伝えたい」また、「次年度大会の計画を早く立てて頂きたい」との思いから、今号より9月にもお届けすることに致しました。

来年は熊本県益城町「グランメッセ熊本」で行います。新しいお友達も一緒に火の国熊本で再会致しましょう。



合掌



### 梅花新聞【香里】 第41号

題字 菅長 江川辰三 禪師  
発行者 釜田 隆文  
発行所 曹洞宗務庁  
企画編集 伝道部詠道課

### お誓い

- ・私達は梅花流詠讃歌を通して、正しい信仰に生きます。
- ・私達は梅花流詠讃歌を通して、仲よい生活をいたします。
- ・私達は梅花流詠讃歌を通して、明るい世の中をつくります。

# 平成三十年度 梅花流全国奉詠大会報告



大会総裁 江川辰三禪師さま

## オープニング

開始を告げる大梵鐘とともに、尺八奏者のブルース・ヒューバー氏が登場。演奏が始まると、会場はその幻想的でやわらかい音色に包まれました。

梅花流発祥の地である静岡市葵区の洞慶院が紹介されたあと、駒澤大学吹奏楽部が曹洞宗宗歌を演奏。



ブルース・ヒューバー氏

副大会長の渡部卓史伝道部長が登場し「ここに平成三十年度梅花流全国奉詠大会を開会します」と声高々に宣言すると、駒澤大学吹奏楽部によるファンファーレが盛大に鳴り響き、華々しく大会が開会しました。献灯献花は静岡県内寺院の徒弟十二名が、お誓いは静岡県洞慶院の梅花講員がそれぞれおつとめされました。

## 開会式

「三宝御和讃」の奉詠とともに、大会総裁である曹洞宗管長大本山總持寺貫首江川辰三禪師さまが入堂され、記念法要が執り行われました。

「摩訶般若波羅蜜多心經」、「大聖釈迦牟尼如来讃仰御詠歌(高嶺)」を全員でお唱えしました。

引き続き、熊本地震三回忌並びに自然災害物故者追悼法要が執り行われ、「追善供養御和讃」を奉詠し、被災地の一日も早い復興を願い、物故者の追悼を行いました。

## 相見の拝・御垂示

江川辰三禪師さまと参加者が対面し、相見の拝として三度のお拝をいたしました。禪師さまからは「本日は皆さまとともに詠讃歌によつて普く自他を利する境涯を分かち合いたいとお願いいたしております」とお言葉を賜りました。

## 洞慶院梅花観音への奉詠

梅花流は、洞慶院住職であった丹羽仏庵老師が宗務庁に進言され、道元禪師七百回大遠忌記念事業として、昭和二十七年に発足しました。

発足に際し、洞慶院で有志の僧侶(斯道会)が、他流派の御詠歌の研究を行ない、研鑽を積んだことから、梅花流発祥の地となりました。

大会両日は、会場内に洞慶院の梅花観音さまをおむかえし、梅花流特



被災地に祈りを捧げる



梅花観音さまに報恩の奉詠

派師範によつて「観世音菩薩第二番御詠歌(浄光)」が奉詠されました。

## 式典

大会長である釜田隆文宗務総長が「登壇される方も自席でお唱えされる方も、梅花流のお誓いを実践する『お仲間』として、心一つにして日頃の詠道精進の成果を十二分に発揮していただき、この会場を梅花流の心と花で埋め尽くしていただけるものと確信しております」と式辞を述べました。

続いて、静岡県第一宗務所の伊藤正見所長が「心ゆくまで静岡を堪能してください」と歓迎の挨拶をしました。



釜田隆文宗務総長



伊藤正見静岡県第一宗務所長

## 登壇奉詠

本大会では、各宗務所・寺院の代表者が登壇奉詠する「代表登壇」でした。

代表登壇者はステージ上でイスと机を使用し、自席でお唱えの方は立行作法に準じて一緒にお唱えしました。



日頃の練習の成果が存分に発揮された素晴らしいお唱えに、その都度大きな拍手が送られていました。

**募金・休憩**

登壇奉詠終了後、曹洞宗義援金をお願いを河村松雄総務部長が行い、二日間で約四百万円の募金をいただきました。ご協力ありがとうございました。

休憩時間になると、売店でお買い物や、全国からの「お仲間」との再会を果たすなど、それぞれ思い思いの時間を過ごされました。



河村松雄総務部長



自席でのお唱えの様子



清興（駒澤大学吹奏楽部）

## 清興

また、洞慶院の梅花観音さまの前では多くの方が手を合わせ、記念に写真を撮っている方も多く見受けられました。

梅花大会での大きな楽しみの一つである清興（アトラクション）は、駒澤大学吹奏楽部による演奏でした。駒澤大学吹奏楽部は、創部五十年を超え、全日本吹奏楽コンクールで金賞を何度も受賞するなど、輝かしい栄光を重ねています。

## 閉会式

いろいろな曲目が演奏されるなか「まごころに生きる」が始まると、参加者は歌詞を口ずさみながら楽しく聞いていました。客席を練り歩きながら演奏する演出もあり、大いに会場は盛り上がりしました。

はじめに詠讃師が「坐禅御詠歌（浄心）」を独詠するなか、いす坐禅を行いました。

続いて、次年度の開催地が発表され、田中孝典熊本県第一宗務所長が「熊本では初めての全国奉詠大会です。心より皆さまをお待ちしております」と挨拶しました。

副大会長の渡部卓史伝道部長が「今は講員ではない方にも、今日のこの感動を伝えてください。そして来年は新しい仲間と一緒に、熊本で梅花流に出会えたことを喜びましょう」と述べ、閉会しました。

ファイナーレには、恒例の「まごころに生きる」を会場全体で大合唱し、大会は盛会裏に終了しました。



田中孝典熊本県第一宗務所長

お求めは曹洞宗ブックセンターまで  
フリーダイヤル

**0120-498-971**

平成30年度 梅花流全国奉詠大会

**大会記念品**

大会会場で頒布していた記念品  
残り僅か！是非お求めください



大会記念 クリップセット

価格 300円



大会パッチ柄 根付

価格 300円



梅花紋ブックマーク

価格 300円

ばいかくんばいかさん ふせん

価格 200円(30個以上1割引き)



## 梅花流詠讃歌練習アプリ

スマートフォンやタブレット端末でお使いいただける「梅花流詠讃歌練習アプリ」をアップデートしました。日々の練習などにご活用ください。

※機種・OSのバージョンによっては、アップデートできない場合があります。

### アップデート内容

- 演奏時の音質の改善
- 自動再生機能の曲目追加
- キーボード画面のキー配置の変更
- 自動再生での同じ音が連続して聞こえる部分の修正



### アップデート方法

- アンドロイド版  
Play ストア→「梅花流詠讃歌練習アプリ」
- iOS 版 (iOS9.0 以上)  
App Store→「梅花流詠讃歌練習アプリ」

## スマイルアゲイン梅花のつどい

「歌声で捧げよう祈り 届けようまごころ」をテーマに、梅花流詠讃歌を通じて震災被災地を支援しよう、有志が全国の師範の協力を仰ぎ、詠範・講師の方々を招いて各地で開催されています。



義援金を届ける北野良昭正伝師範 (左)

これまでの全十二回の参加者は延べ一二九二名、曹洞宗義援金に寄託をいただきました総額は五百二十七万四千九百八十五円となりました。梅花流に培われた、皆さまのあたたかい真心に感謝いたします。

## 宗務庁主催檀信徒講習会

平成三十年十一月十九日～二十日、大本山總持寺において宗務庁主催檀信徒講習会を開催します。

檀信徒講師であれば、教階に関わらずご参加いただけます。一講から六名以上の申込みを希望の際は、事前に詠道課にご連絡ください。

電話 〇三・三四五四一  
五四一六

※詳細は『曹洞宗報』四月号をご覧ください。



大本山總持寺

## 梅花流詠讃歌による仏教讃歌

平成三十年六月七日、駒澤大学の禅文化歴史博物館にて「梅花流詠讃歌による仏教讃歌」が開催されました。



イベントの様子

禅文化歴史博物館・禅ブランドینگ事業共催事業で、第一部三宝讃歎、第二部永平開創の二部構成で行われました。有志の梅花流特派師範約十名が参加し、梅花流のお唱えと声明などを披露しました。

## 法具寄贈のお願い

伝道部詠道課では、中古の梅花法具等を収集し、自然災害などで被災された講師や僧堂にお送りして有効活用しています。ご不要になりました法具がありましたら、ぜひとも寄贈してください。



寄贈法具で練習 (長崎県 皓台寺専門僧堂)

### 送付先

〒105-8544  
東京都港区芝2-5-2  
伝道部詠道課  
「中古法具」係  
☎ 03-3454-5416  
※送料はご負担ください。